

中小企業景気動向調査

(2022年4~6月調査)

vol.176

(2022年7月20日発行)

目次

全業種業況概要(業況~設備の状況) 1
 業種別業況の推移 3
 製造業/卸売業/小売業 4
 建設業/サービス業/不動産業 5
 特別調査(混迷する経済社会情勢と中小企業経営) 6

● 調査方法

この調査は中小企業を対象に取引先に出向き、聞きとりしたものです。

● 調査時点

2022年6月初旬

● 調査対象時期

2022年4月~6月実績及び
2022年7月~9月予想

● 調査対象企業の業種別及び有効回答数

	企業数	構成比(%)	有効回答数	回答率(%)
製造業	56	28.0	54	96.4
卸売業	21	10.5	17	81.0
小売業	42	21.0	35	83.3
建設業	32	16.0	28	87.5
サービス業	32	16.0	29	90.6
不動産業	17	8.5	14	82.4
合計	200	100.0	177	88.5

分析方法

D.I (ディフュージョン・インデックス)

A=良い(増加・上昇・過剰)
 B=ややA
 C=普通(変わらず・適正) $D.I=A \cdot B - D \cdot E$
 D=ややE
 E=悪い(減少・下降・不足)

この調査の中では傾向を見る方法の一つとしてD.Iを中心として分析したもので、D.IはDiffusion Index(拡張指数)の略です。

企業が景況判断・予想を5段階(A.B.C.D.E)で行います。不変部分(C)を除いて増加(AもしくはB)したとする企業が全体に占める構成比と減少(DもしくはE)したとする企業の構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトル(方向線)の傾向を見る方法です。

概況

業況・売上額・収益、ともに改善

金沢信用金庫が行った中小企業177社の景気動向調査(調査回答先:金沢市中心の業務区域内200社・回答率88.5%)の概況は次のとおり。

今期の全産業ベースの業況判断DI(「良い」・「やや良い」-「悪い」・「やや悪い」の構成比、以下同じ)は△15.8(前期△32.6)と16.8%改善した。

業種別では、卸売業が11.8(前期△5.9)と17.7%改善、ほか製造業が△9.3(前期△29.1)と19.8%、小売業が△25.7(前期△63.6)と

37.9%、サービス業が△27.6(前期△44.8)と17.2%改善したが、建設業は△28.6(前期△25.9)と2.7%、不動産業は0.0(前期7.1)と7.1%悪化した。全産業ベースでの来期予想DIは△16.9と1.1%の悪化を予想している。

また、全産業ベースの売上額判断DIは3.4(前期△25.7)と29.1%改善、収益判断DIも△4.5(前期△24.6)と20.1%改善した。来期予想では、売上額判断DIが2.3と1.1%の悪化、収益判断DIも△5.1と0.6%の悪化を予想している。

今回の調査で経営上の問題点として最も多かった回答は、「売上の停滞・減少」(全回答中44.1%)で、以下「原材料高」(全回答中37.3%)、「人手不足」(全回答中23.2%)であった。また、当面の重点経営施策としては「経費の削減」(全回答中41.8%)との回答が最も多く、以下「販路を広げる」(全回答中37.3%)、「人材を確保する」(全回答中29.9%)という結果となった。

(注)2022年1~3月を前期、4~6月を今期、7~9月を来期という。以下同じ。

景況天気図

(この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成しました。)

好調 ← ☀️ ☁️ ☔️ ☂️ → 低調

業種名	時期	2020年(令和2年)		2021年(令和3年)			2022年(令和4年)		見通し	
		7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月		4月~6月
総 合		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☔️	☔️	☔️
製 造 業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☔️	☁️	☁️
卸 売 業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☀️	☁️	☁️	☁️
小 売 業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️
建 設 業		☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☁️	☔️	☔️	☔️
サ ー ビ ス 業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☔️
不 動 産 業		☔️	☔️	☔️	☔️	☔️	☁️	☁️	☁️	☔️

全業種

	2020年(令和2年)		2021年(令和3年)				2022年(令和4年)		見 通 し
	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月
業 況	△68.4	△49.5	△44.3	△48.4	△36.1	△12.4	△32.6	△15.8	△16.9
売 上 額	△26.8	△ 7.4	△38.8	△18.1	△ 5.5	11.2	△25.7	3.4	2.3
受 注 残	△36.9	△ 5.9	△29.4	0.0	3.5	18.1	△14.6	△ 2.4	△ 2.4
収 益	△33.2	△10.1	△36.1	△20.3	△12.6	2.2	△24.6	△ 4.5	△ 5.1
販 売 価 格	△ 1.6	1.6	△ 3.3	△ 3.3	5.5	13.5	11.4	22.0	14.7
原 材 料 価 格	12.1	11.2	16.9	31.9	40.4	51.7	55.4	70.1	59.9
在 庫	8.1	6.3	6.5	9.2	4.6	△ 5.4	3.4	0.7	△ 6.8
資 金 繰 り	△16.8	△ 8.0	△10.4	△17.0	△12.0	△12.9	△16.0	△ 7.3	△15.8
雇 用 (人 手)	6.8	△11.2	△ 3.8	△ 2.2	△14.8	△25.8	△15.4	△23.2	△23.7
設 備 状 況	△ 7.5	△12.2	△11.4	△11.4	△13.0	△17.0	△10.6	△10.4	△11.7

設備投資動向

設備投資は、不動産業を除いた163社の動向です。

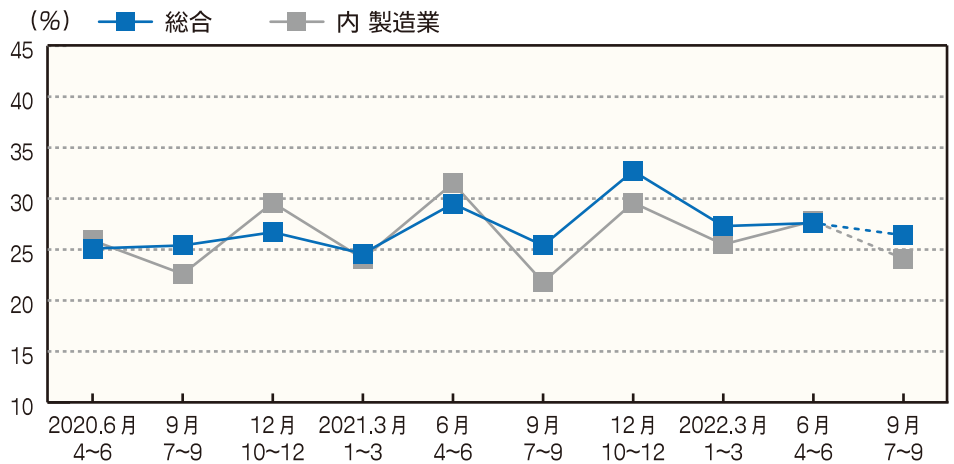
● 4~6月の設備投資実施状況

総 合		有	無
		数	45
	%	27.6	72.4
(内 製造業)	数	15	39
	%	27.8	72.2

(来期見通し)

総 合		有	無
		数	43
	%	26.4	73.6
(内 製造業)	数	13	41
	%	24.1	75.9

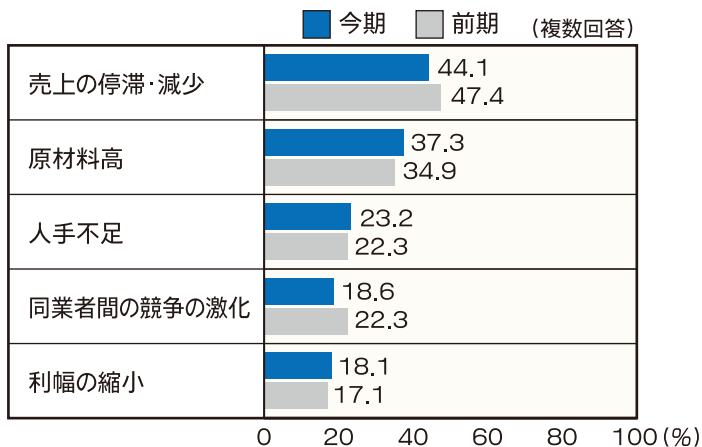
● 設備投資実施(予定)割合



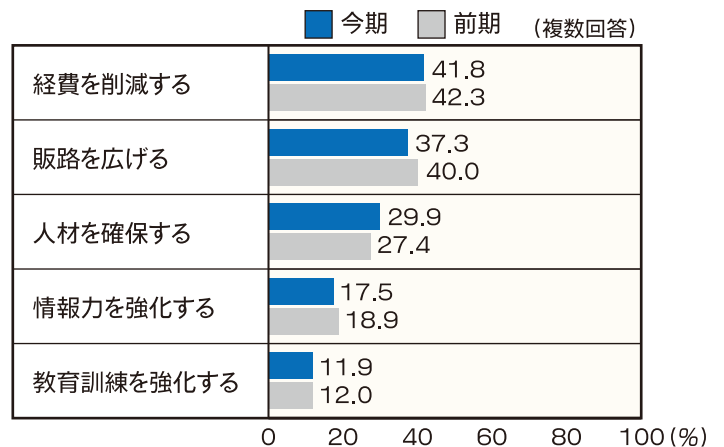
● 4~6月に実施した設備投資の内訳(複数回答)

総 合		事業用 土地・建物	機械・設備の 新增設	機械・設備の 更改	事務機器	車両	その他
		(内 製造業)	%	6.1	9.2	9.2	7.4
	%	3.7	16.7	7.4	9.3	5.6	0.0

経営上の問題点



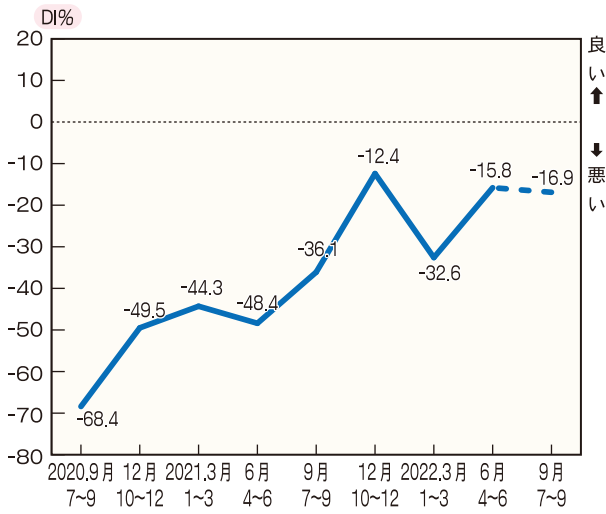
重点経営施策



全業種

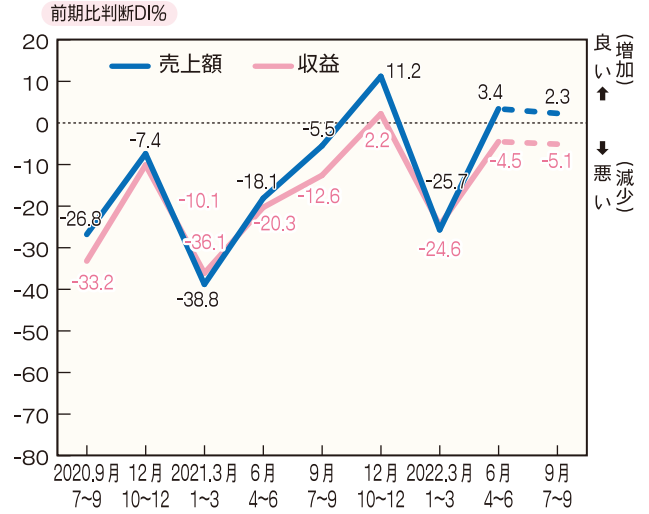
業況

前期から16.8ポイント改善
来期は1.1ポイントの悪化を予想



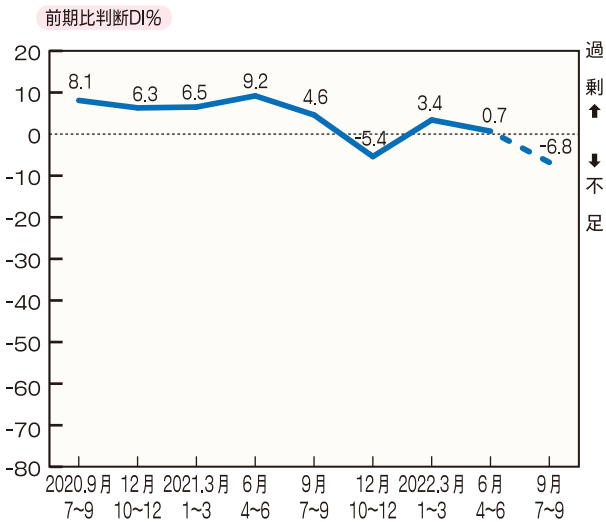
売上額・収益

売上額は29.1ポイント改善
収益は20.1ポイント改善



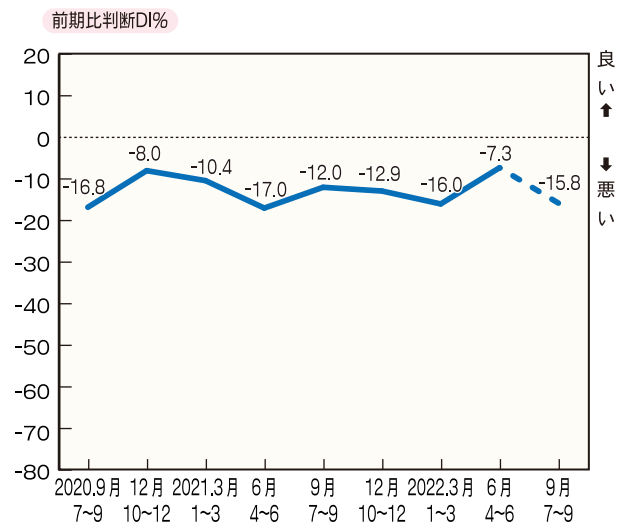
在庫

今期0.7 (前期3.4)と
過剰感が改善



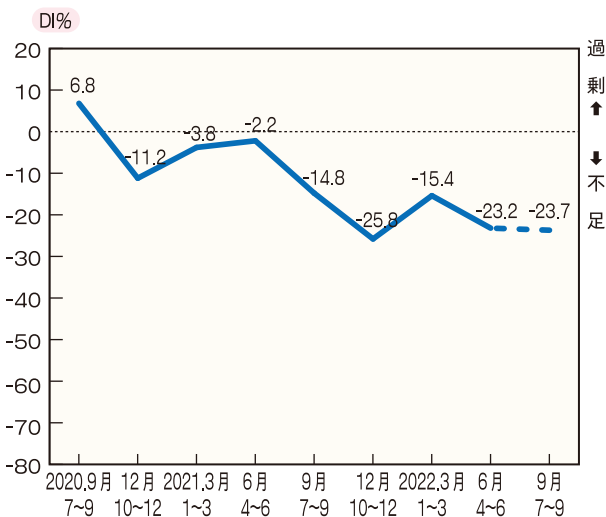
資金繰り

△7.3 (前期△16.0)と改善



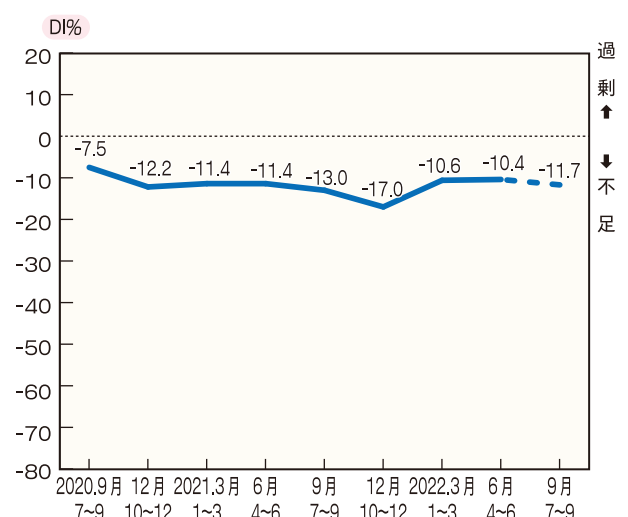
雇用

今期△23.2 (前期△15.4)と
人手不足感が増加



設備の状況

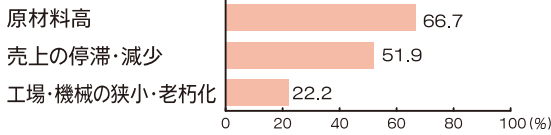
△10.4 (前期△10.6)と
ほぼ横ばい



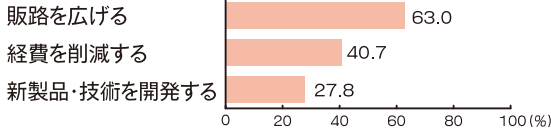
製造業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



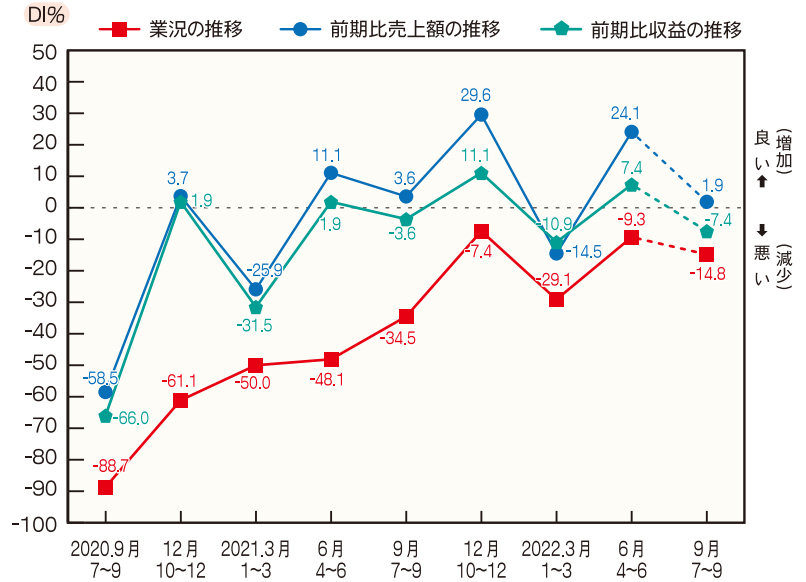
◆ 昨年同時期 (2021年4~6月) に比した動き

売上額	25.9
収益	9.3

◆ 借入金の動き

借入の実施	16.7%
借入の予定	20.4%

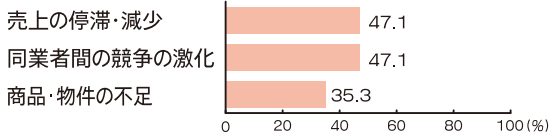
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



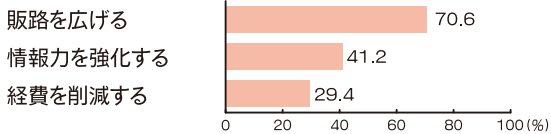
卸売業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



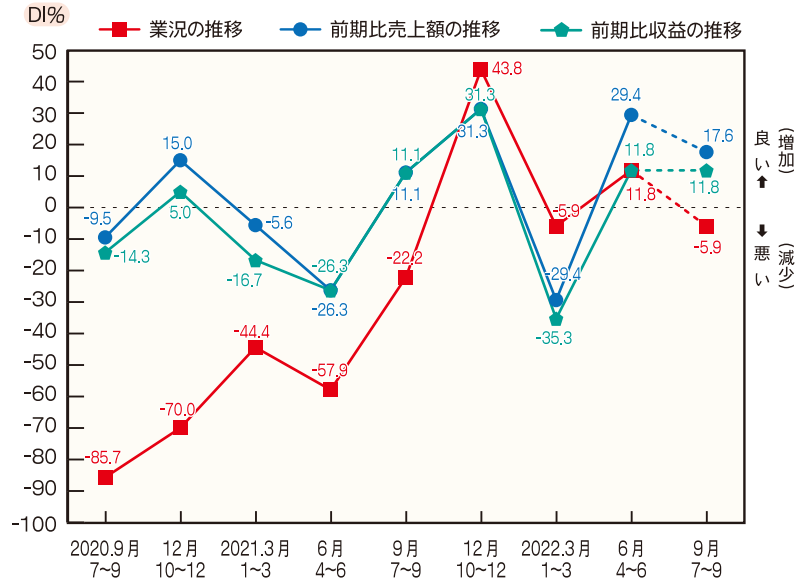
◆ 昨年同時期 (2021年4~6月) に比した動き

売上額	47.1
収益	47.1
販売価格	41.2

◆ 借入金の動き

借入の実施	23.5%
借入の予定	11.8%

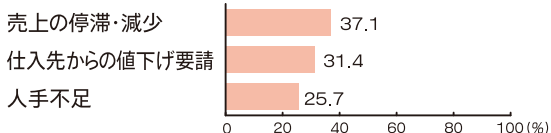
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



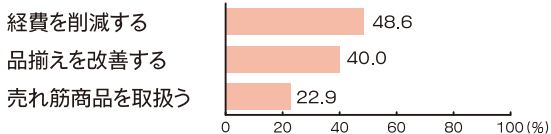
小売業

業況・売上額・収益
ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



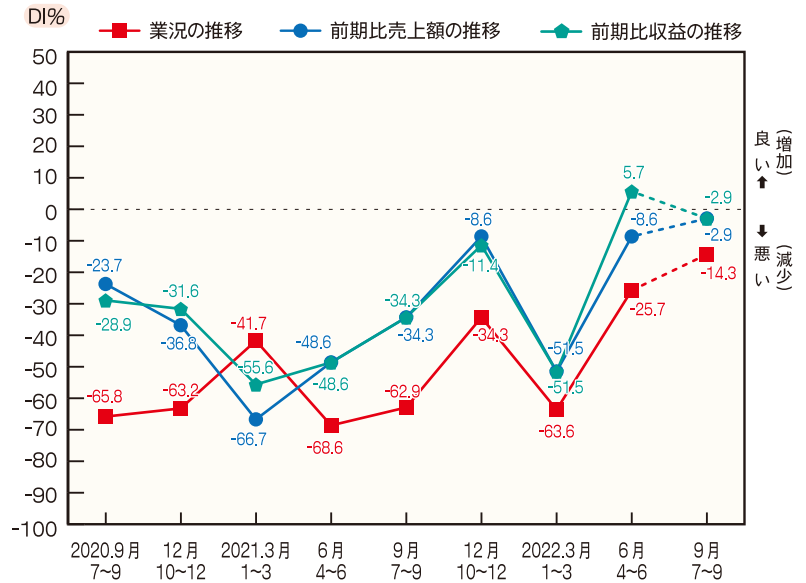
◆ 昨年同時期 (2021年4~6月) に比した動き

売上額	14.3
収益	0.0
販売価格	31.4

◆ 借入金の動き

借入の実施	20.0%
借入の予定	11.4%

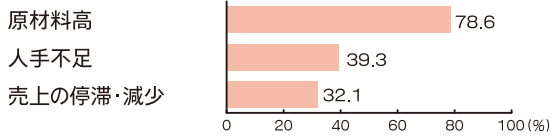
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



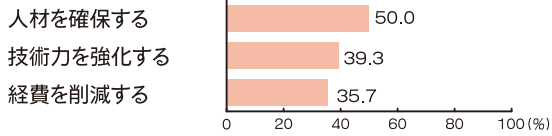
建設業

業況・売上額・収益ともに悪化

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



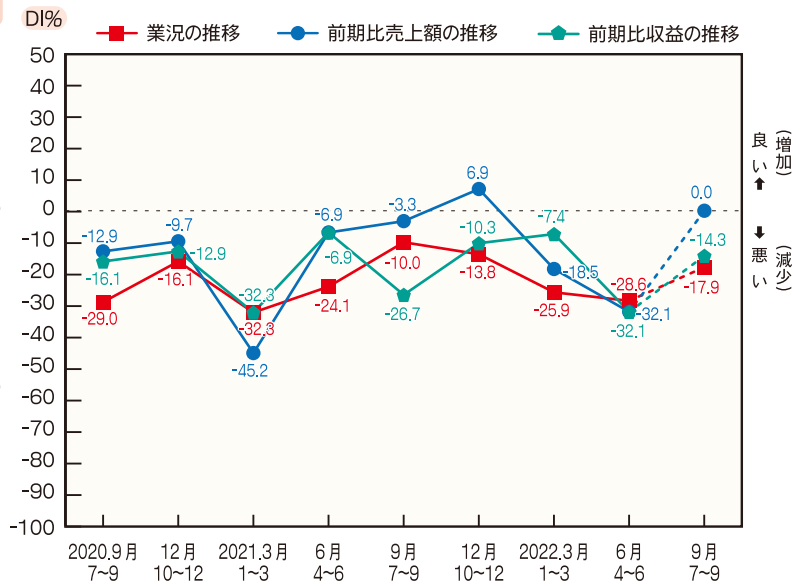
◆ 昨年同時期(2021年4~6月)に比した動き

売上額	△35.7
収益	△39.3

◆ 借入金の動き

借入の実施	21.4%
借入の予定	10.7%

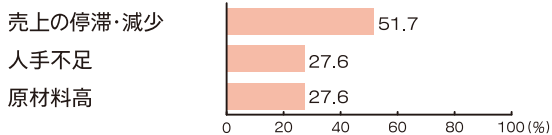
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



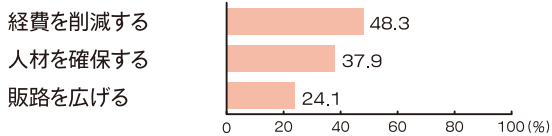
サービス業

業況・売上額・収益ともに改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



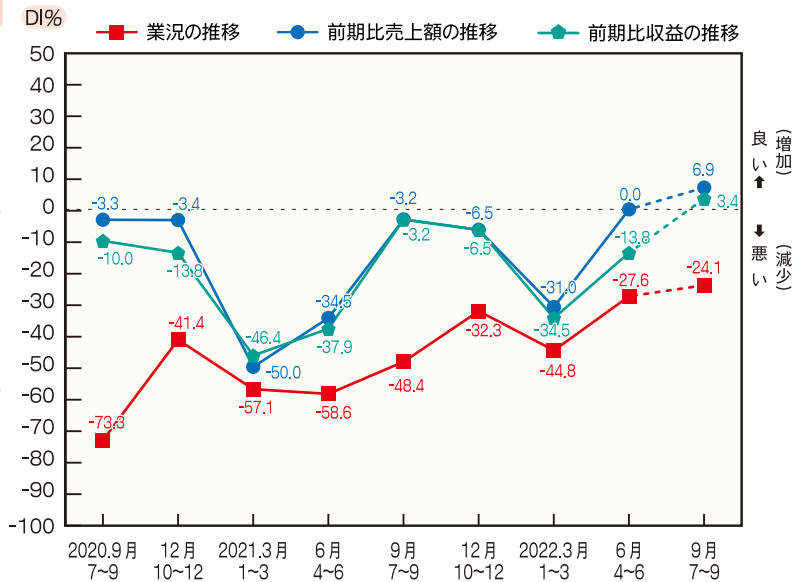
◆ 昨年同時期(2021年4~6月)に比した動き

売上額	0.0
収益	△10.3

◆ 借入金の動き

借入の実施	10.3%
借入の予定	20.7%

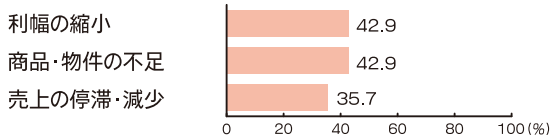
◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移



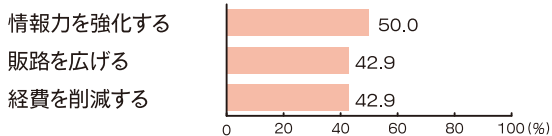
不動産業

業況・収益が悪化
売上額は改善

◆ 経営上の問題点



◆ 重点経営施策



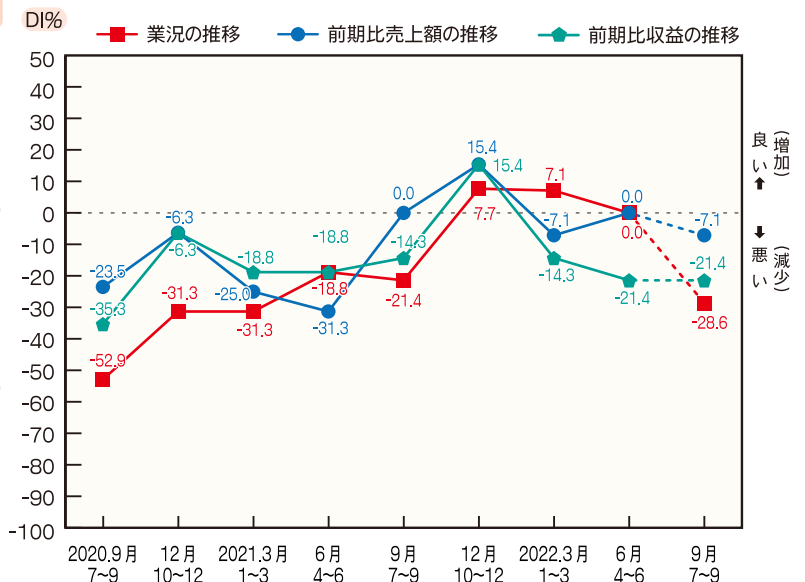
◆ 昨年同時期(2021年4~6月)に比した動き

売上額	△14.3
収益	△28.6

◆ 借入金の動き

借入の実施	35.7%
借入の予定	28.6%

◆ 業況判断D.I・前期比売上額・収益の推移

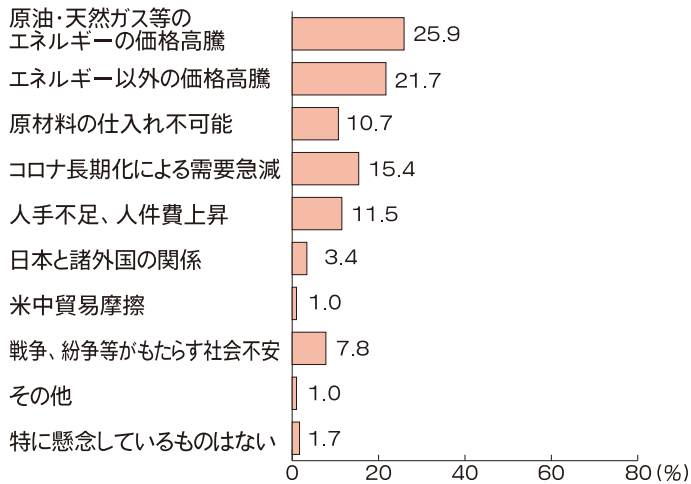




混迷する経済社会情勢と中小企業経営

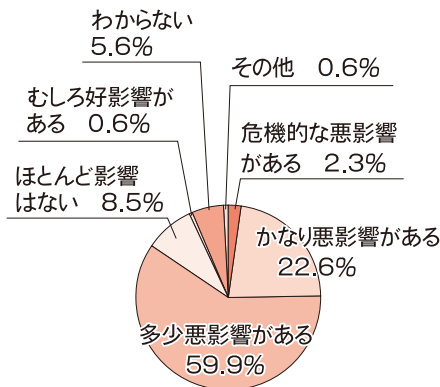
177社(無回答0社)に調査し回答をいただいたものです。

1 最近の経済社会情勢について、特に懸念しているものはありますか。(複数回答)

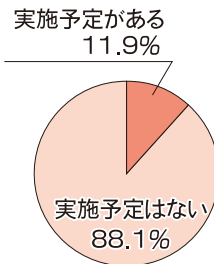


2 最近の原油・天然ガスなどのエネルギー価格の上昇により収益にどのような影響を受けていますか。また、今後、省エネにつながる設備投資を実施する予定はありますか。

収益への影響

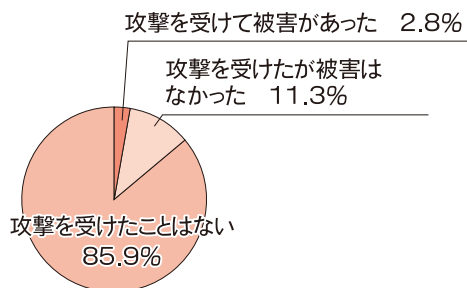


省エネの設備投資

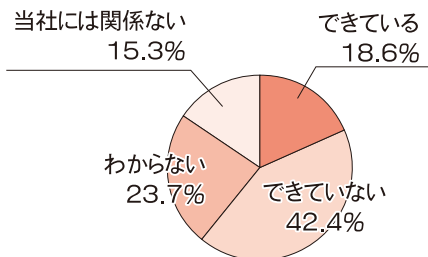


3 企業や団体などを標的としたサイバー攻撃による被害が数多く報告されています。サイバー攻撃による被害を受けたことがありますか。また、サイバーセキュリティを確保するため、人材を確保し、態勢を整備していますか。

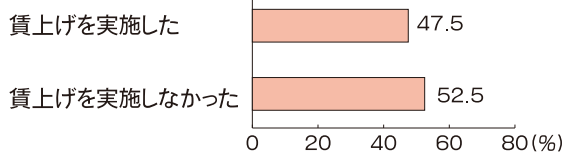
サイバー攻撃による被害



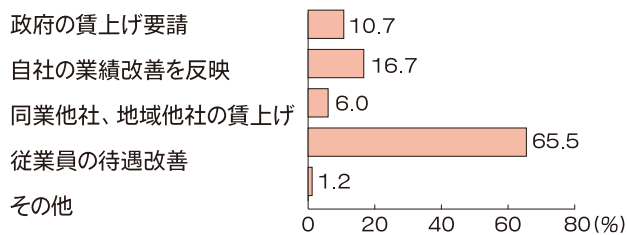
人材の確保・態勢の整備



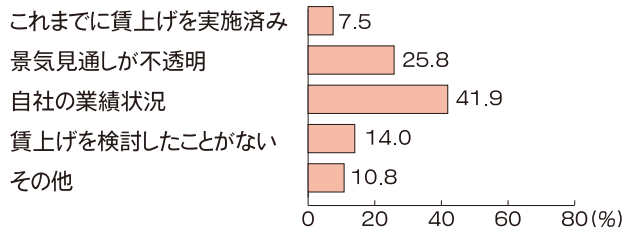
4 経済社会情勢の混迷のなかで政府から賃上げが要請されていますが、今春、賃上げを実施しましたか。



賃上げを実施した理由



賃上げを実施しなかった理由



5 コロナ禍を受けて、事業承継(M&Aを含む)についての考え方に変化はありましたか。

